

きらり

私たちは「きらり」と輝くんや

平成22年1月13日(水) 山根

「成人の日」

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

いよいよ3学期が始まりました。
「元旦」に決意した自分の「夢」を実現できるようがんばりましょう。

先日10日(日)に赤穂市では「成人式」が赤穂ハーモニーホールで開かれました。今年の500余人の新成人の人たちは、しっかりした式典を行い、来賓のお祝いの言葉を心におさめていました。「成人になると、責任が生まれます。すばらしい大人になりましょう」。それを受けて、代表は「力強く頑張ります」と応えていました。

「成人の日」は、どういう日か知っていますね。

新成人の人たちが、今まで両親や周りの大人達に見守られて生活してきた子供時代を終え、自立し、大人の社会へ仲間入りすることを自覚するための儀式(成人式)を行う日です。

ところで、成人を祝う風習は古来からありました。

男子(おおよそ12歳から16歳)は、髪を結び冠または烏帽子をつけ、服装を改め、成人したことを周囲に示しました。「元服式」です。(元)は首(=頭)、「服」は着用を表しますので、「頭に冠をつける」という意味で「加冠」とも「初冠(ういこうぶり)」とも言われています。この日までに、いくつかの試練(元服に向け)を与え、合格をめざさせていたそうです。

女子(12歳から14歳の頃、婚儀以前に行うのが習わしであった)の場合は「裳(も)」という腰から下にまとう衣服を身に付ける裳着【もぎ】と言い、髪を結び上げる髪上【かみあげ】、歯を黒く染める鉄漿【かね】(お歯黒)付けを成人の儀礼としていたそうです。



吉備津神社(初詣)



吉備津神社 おみくじ

みなさんは、これから、5~6年もすれば、20歳になり成人式を迎えます。そして、みなさんは、日頃からいろいろな学習を行い、一日一日と成長し、20歳という年に近づいているのです。

つまり、成人に向かって進んでいるのです。

大人の中に入ると本当に難しいことがまっています。そのややこしいことが理解できるように、今学んでいるのです。

そこで、今、中学生としてしなければならないことがあります。

それは「ごめんなさい」「ありがとう」が心から言えるようになることです。

「頑張れ!坂中生」

